

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		皇學館大学		設置者名		学校法人 皇學館	
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
文学部	神道学科	70人	中一種免(宗教) 高一種免(宗教)	昭和52年度 昭和52年度	66人	2人 1人 2人	1人
	国文学科	80人	中一種免(国語) 高一種免(国語) 高一種免(書道)	昭和37年度 昭和37年度 昭和43年度	93人	41人 23人 41人 16人	7人
	国史学科	80人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民)	昭和37年度 平成3年度 平成3年度	112人	46人 23人 46人 15人	6人
	教育学科	120人	小一種免 幼一種免	昭和50年度 昭和50年度	93人	86人 84人 75人	57人
	コミュニケーション学科	80人	中一種免(英語) 高一種免(英語)	平成14年度 平成14年度	72人	16人 14人 16人	1人
社会福祉学部	社会福祉学科	218人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 高一種免(福祉) 養学一種免	平成15年度 平成14年度 平成14年度 平成17年度	221人	11人 0人 4人 11人 -	0人
入学定員合計		648人	合計		657人	202人	72人
備考	※「免許状取得者数」欄の、左側には各学科(課程・専攻)の実人数を、右側には学科(課程・専攻)内の教員免許課程ごとの人数を記載している。						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と地域との交流という建学の精神に基づき、月例文化講座を設けるなど、地域との交流を積極的に進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成14年2月21日の中教審答申に即し、地域に根ざした教育を実践している。
教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の開学理念と合わせ、教員養成に対する理念の検討がなされている。しかし、各学部ごとの教員像は明確ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の設置目的に合わせ、それぞれの学部固有の個性的な教員養成、教員像について、インフォーマルな場だけではなく、教授会等においても検討してほしい。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案の作成等、教育実践力の向上に結び付く授業展開を実施している。 ・学校現場経験者を多数採用している。 ・授業科目「総合演習」の設置趣旨が、総合的な学習の時間の対応科目となっている。 ・授業科目「教育心理学」「発達心理学」「発達学習心理学」に、「障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」が含まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育現場を意識した授業展開をしていることを評価する。 ・学校現場経験者を採用する場合には、大学として、研究者的探求能力を養成できる教員を採用するように留意すること。 ・科目の内容については、教育職員養成審議会第1次答申を参照の上、本来の設置趣旨を踏まえた内容とすること。特に、総合演習については、1名の教員のみで実施するだけではなく、複数の教員でオムニバス形式で実施することも考えられる。また、教育課程全体の統合化・構造化を進めるためにも、教職課程カリキュラム委員会を設置するなど教員組織の面からも体系化を図っていくことが必要である。
教職に関する科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「教育相談」については、カウンセリングの専門的な科目となっている。 ・授業科目「幼児心理学」については、シラバスの記載が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談については、カウンセラーを養成するような専門的な内容ではなく、スクールカウンセラーや学校医等との連携の在り方を中心に置くこと。 ・シラバスは学生との契約を表すものであるから、どのような授業内容なのかを明らかにすること。

個別的事項

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「教職論」が、教育実習の事前指導のような内容に偏っている。 ・授業科目「社会教育学」が、教育に関する社会的事項として配置されている。 ・授業科目「体育科教育法」については、模擬授業が半数を占める。 ・教育の方法及び技術に該当する科目（授業科目「教育の方法・技術」）について、情報機器及び教材の活用に該当する授業が1回のみとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の職務内容を紹介するだけでなく、教育職員免許法施行規則に定められた内容を全て含めること。 ・教育に関する社会的事項としては、社会教育に偏りが見られるため、名称・内容について検討すること。 ・模擬授業を通して全体的な構造が見えないので、個々の模擬授業の内容を、シラバスの各授業計画に、具体的に明記してほしい。 ・教育工学などとして独立した科目がない場合、授業が1回のみでは少ない。別の授業科目で補うなど検討してほしい。
教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中に実施されている授業で、受講学生の半数以上が実習にいない場合には補講等を実施している。 ・母校実習が中心である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の二重取りが行われないように注意すること。また、確実に補講などを実施し、15回（あるいは30回など）の授業時数を確保すること。 ・併設校を有効活用すること。
教職指導、介護等体験等	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員制度・クラス担任制度により、きめ細かい履修指導体制を築いている。 ・社会福祉学部の教職課程履修者には、三重県が実施している教育アシスタントを義務付けている。また、派遣に当たっては研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次答申にあるように、学生一人一人が理想とする教員像を具体化するために、今後とも適切な履修指導が実施されることを期待する。 ・早い時期からの学校現場体験を実施していることを高く評価する。
免許状取得状況及び教員就職状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。

<p>施設・設備 の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の集書計画・読書指導は建学の精神に即して行われている。また、教育関係図書については専用のコーナーにまとめて閲覧の用に供している。 ・図書館については社会人開放を行っている。 ・ピアノの演習室が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導法まで考慮した参考図書・絵本の集書に努めてほしい。 ・図書館は休日も開放していくことを期待する。 ・ピアノの演習にあたっては、技術のみならず、教育的側面を考慮した演奏・構成・演出を検討できる施設の整備の検討を期待する。
----------------------	---	--